



*Ideas & Chemistry*

2019.5.9

# 2018年度決算説明



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



*Ideas & Chemistry*

[www.toyobo.co.jp](http://www.toyobo.co.jp)

## 東洋紡株式会社

# 目次

- I . 2018年度決算の概況**
- II . 2019年度業績見通し**
- III . 2018年中期経営計画進捗**



# I . 2018年度決算の概況

# 2018年度決算のポイント

- ◆ 売上高3,367億円 (1.7%増)、営業利益217億円 (9.2%減)
- ◆ 成長ドライバーの“コスモシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムは好調
- ◆ 包装用フィルム、エンブラ、エアバッグ用基布など、原燃料価格変動の影響あり
- ◆ 当期純損失6億円。火災による損失として、特損138億円計上

(億円)

	2017年度	2018年度	増減	直近予想 (19/02)
売上高	3,311	3,367	+1.7%	3,400
営業利益	239	217	▲9.2%	210
特別損益	▲22	▲177	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	130	▲6	-	0

## 決算概要 PL・CF

(億円)

	2017年度	2018年度	増減		直近予想 (19/02)
売上高	3,311	3,367	+55	+1.7%	3,400
営業利益	239	217	▲ 22	▲ 9.2%	210
(率)	7.2%	6.5%	-	-	6.2%
経常利益	204	178	▲ 26	▲ 12.9%	160
特別利益	115	15	▲ 100	▲ 86.8%	-
特別損失	137	192	+55	+40.4%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	130	▲ 6	▲ 136	-	0
EPS(円)	146.9	▲ 6.8	-	-	-
減価償却費	157	158	+2	+1.0%	159
設備投資	213	255	+43	+20.0%	240
営業CF	224	78	▲ 145	▲ 64.9%	-
ROE	7.5%	-	-	-	-
為替レート (円/US\$)	111	111			110
国産ナフサ (千円/kl)	42	49			49

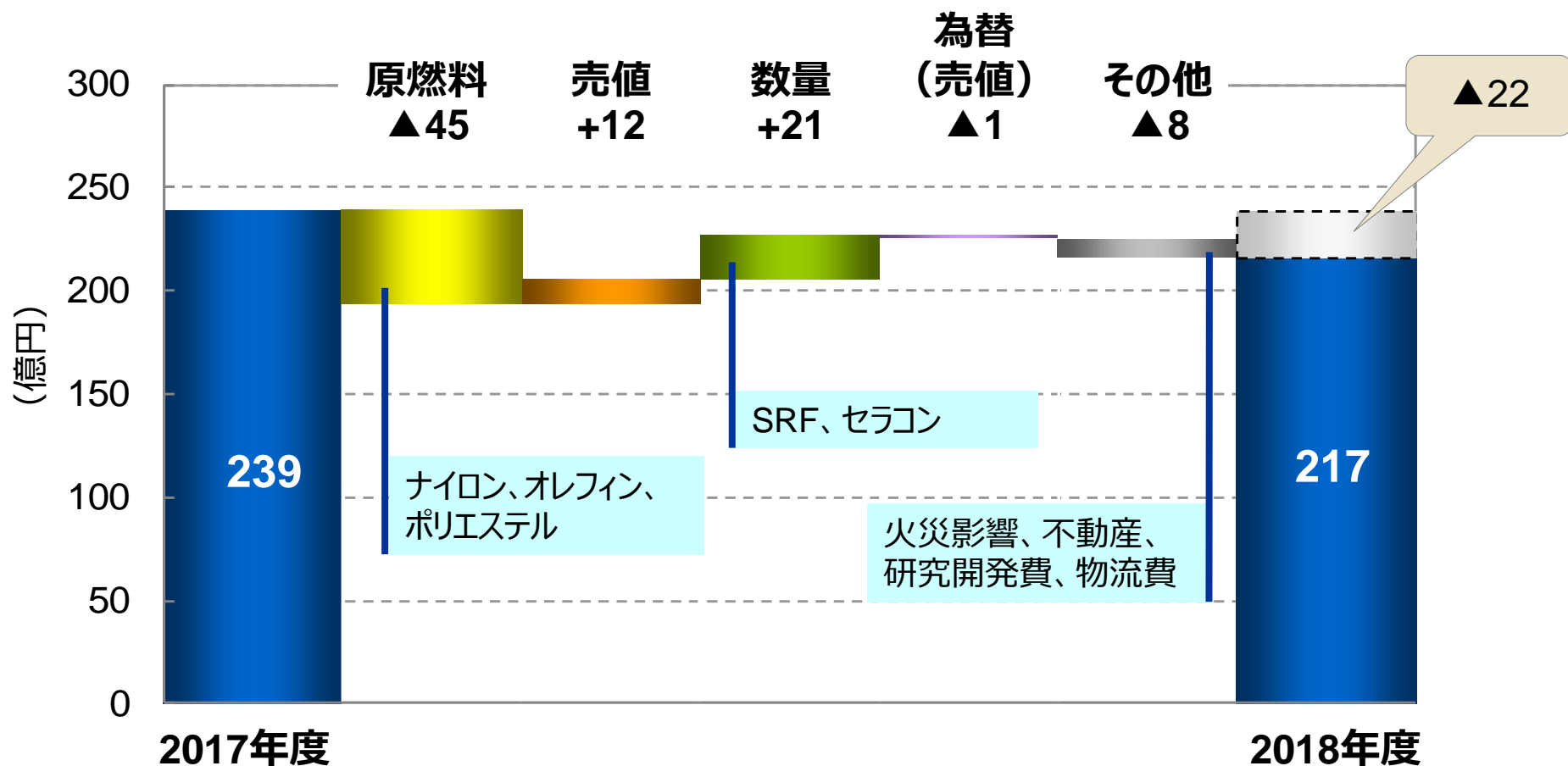
# 火災による特別損失

(億円)

内 訳	計上額
代替品調達に関連する費用	79
固定資産およびたな卸資産の滅失損失	21
資産の撤去および原状回復に要する費用	17
操業休止期間中の固定費	14
その他関連費用	7
合計	138

- ◆ お客様のラインを止めないことを最優先に、対応しています
- ◆ 適切に損害保険を付していますが、保険金の受取額は未確定のため、特別利益に計上していません

# 営業利益の増減要因



	2017年度			2018年度		
	上	下		上	下	
為替レート (円/US \$)	111	111	111	110	112	111
国産ナフサ (千円/kl)	38	46	42	51	48	49

## 決算概要 BS

(億円)

	17/3末	18/3末	19/3末	増減 18/3 ⇒ 19/3
総資産	4,502	4,455	4,610	+156
たな卸資産	728	713	768	+55
固定資産	2,585	2,589	2,679	+90
純資産	1,709	1,845	1,812	▲ 33
自己資本	1,678	1,806	1,766	▲ 40
(利益剰余金)	459	561	519	▲ 43
非支配株主持分	31	40	46	+7
有利子負債	1,692	1,456	1,648	+192
D/E レシオ	1.01	0.81	0.93	-

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」を適用しています

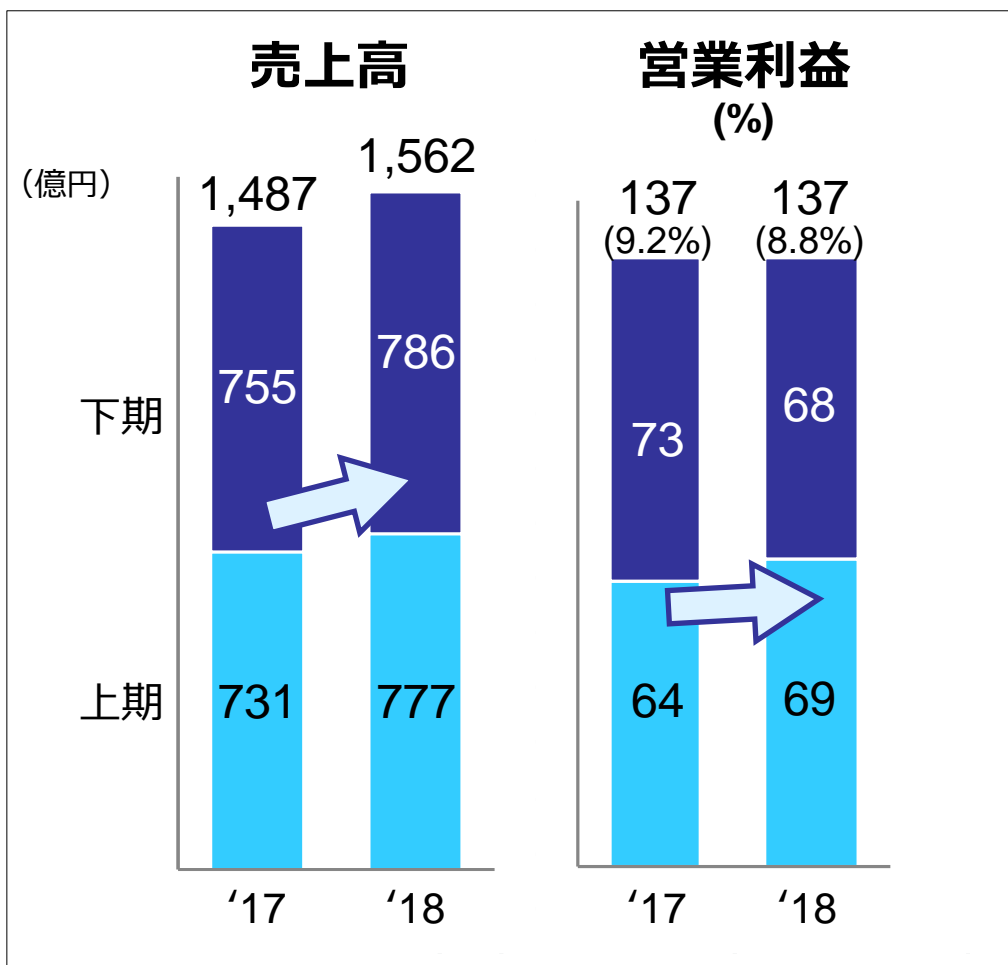


## 決算概要 セグメント別

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (19/02)
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度	増減	
フィルム・機能樹脂	1,487	1,562	137	137	+0	139
産業マテリアル	635	665	43	26	▲ 16	26
ヘルスケア	357	347	52	52	▲ 0	48
繊維・商事	683	646	6	9	+3	3
不動産・その他	150	147	28	22	▲ 6	22
消去・全社	-	-	▲ 27	▲ 29	▲ 2	▲ 28
合計	3,311	3,367	239	217	▲ 22	210

# フィルム・機能樹脂



## ● 包装用フィルム

- ・需要は堅調
- ・原料価格変動の影響大

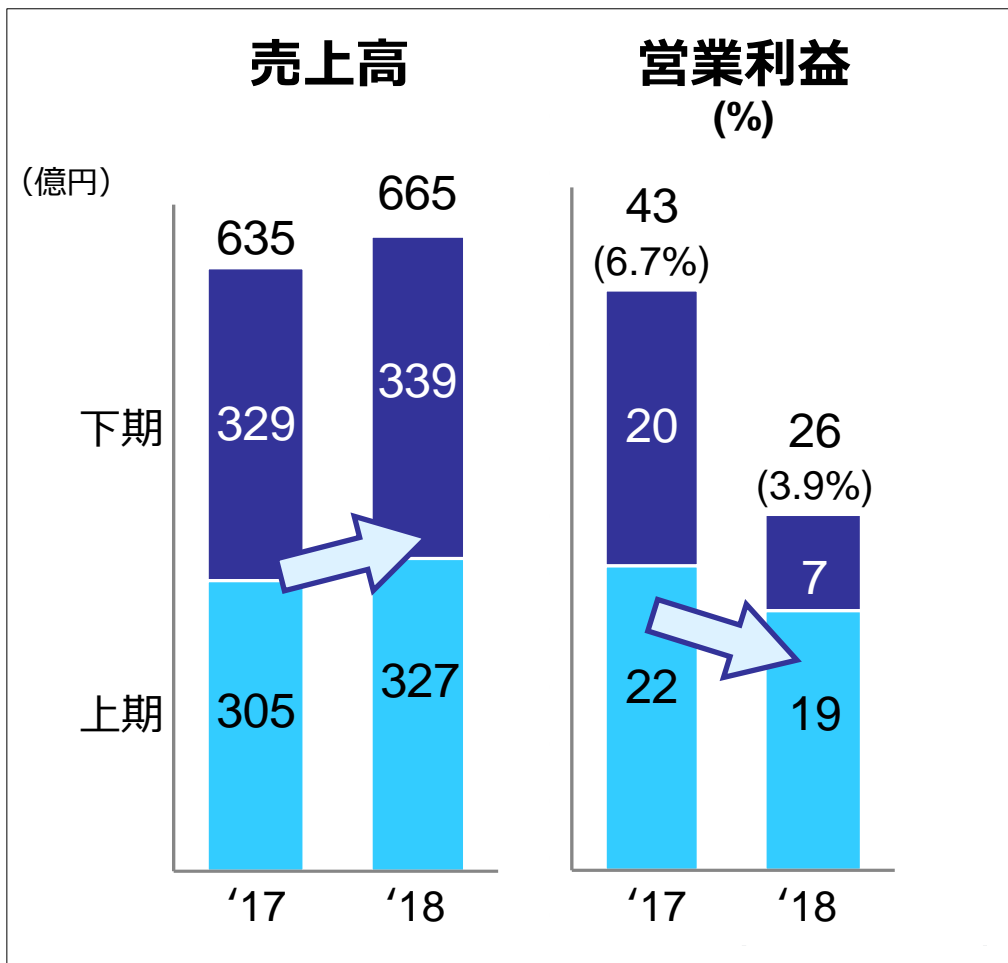
## ● 工業用フィルム

- ・“コスモシャイン SRF”は、販売拡大
- ・セラコン用離型フィルムは、車載用で販売を伸ばす

## ● 機能樹脂

- ・エンプラは、国内外で数量拡大も、原料価格変動の影響
- ・電材用途は、苦戦

# 産業マテリアル



## ● エアバッグ用基布

- ・海外向け拡販は順調も、火災と原料価格高騰の影響あり

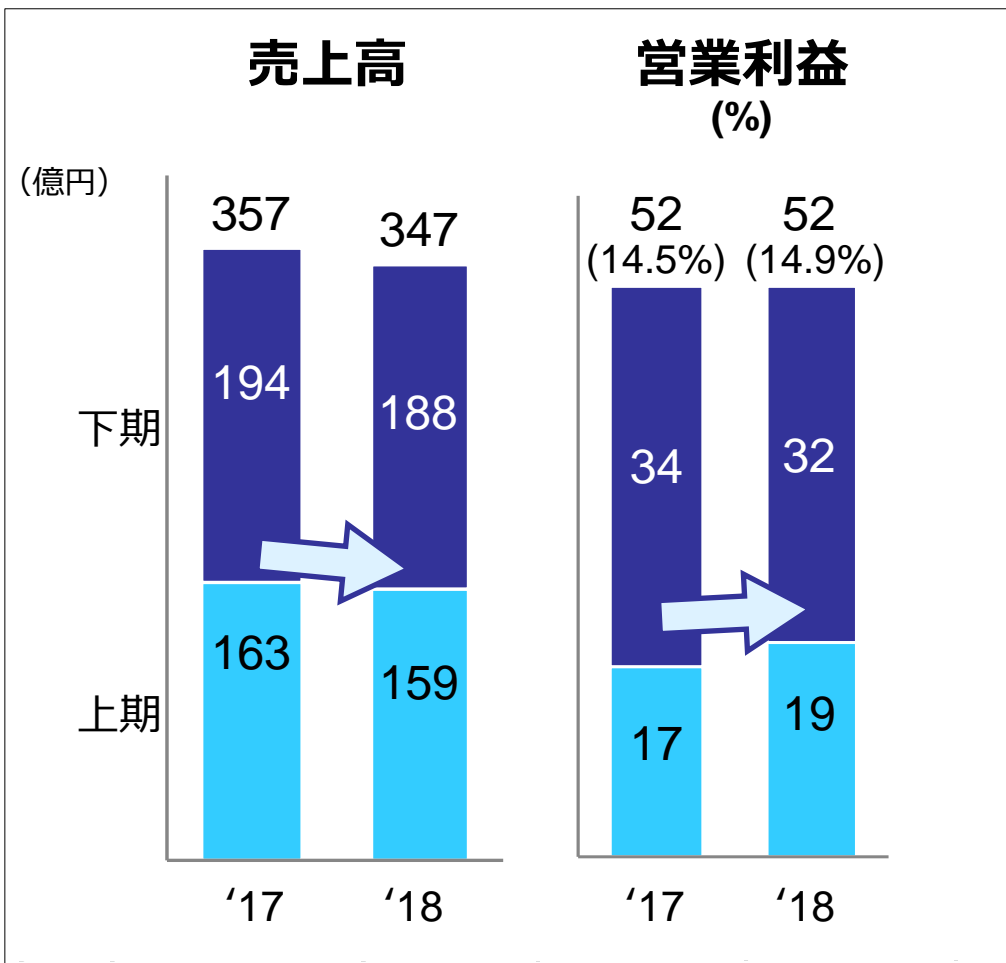
## ● 生活・産業資材

- ・衛材用短繊維、スパンボンドは、販売を伸ばすも、原料価格変動で苦戦
- ・“ブレスエアー”は、火災の影響あり

## ● スーパー繊維

- ・“ツヌーガ”は、手袋用途が好調

# ヘルスケア



## ● バイオ

- ・診断薬用酵素が海外で、遺伝子検査用試薬が国内で拡販進む

## ● 医薬

- ・案件獲得に苦戦
- ・GMP対応費用がかさむ

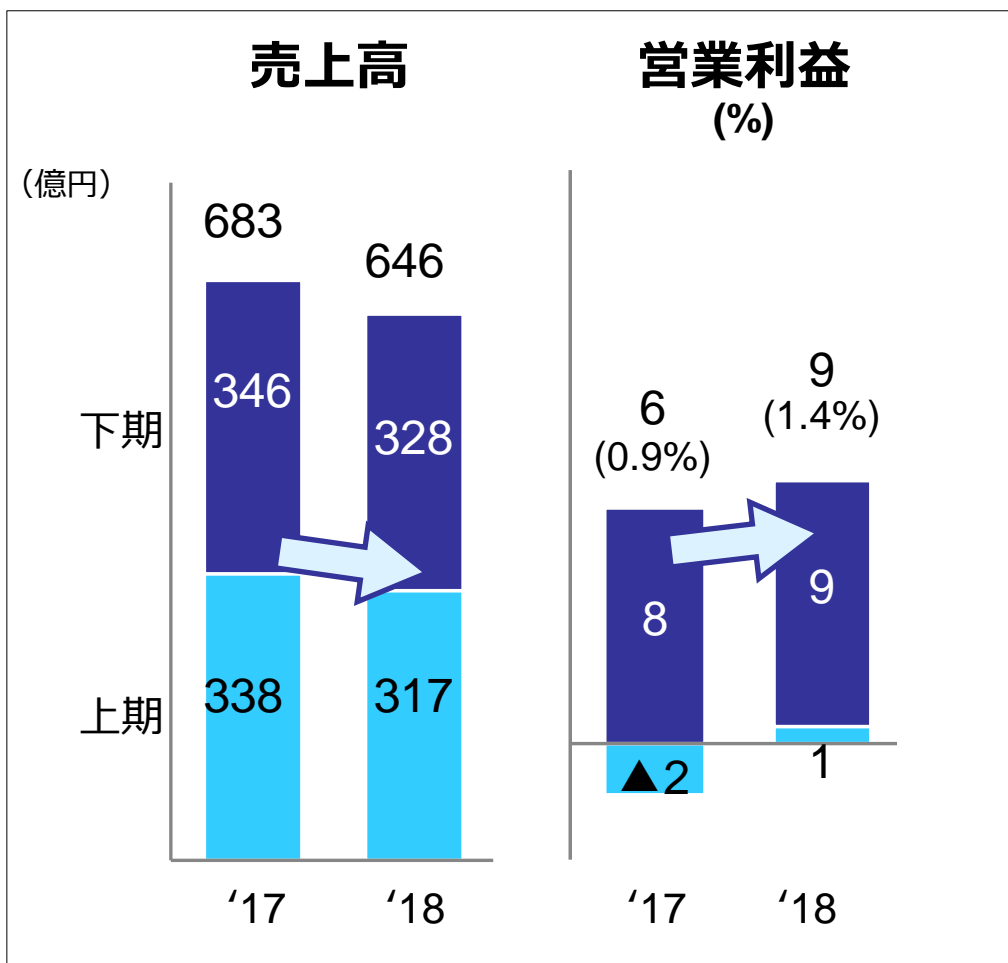
## ● 機能膜

- ・アクア膜は、受注足踏み

## ● 機能フィルター

- ・VOC処理装置・エレメントは好調
- ・フィルター部材は、事務機器減速

# 繊維・商事



## ● 東洋紡STC (繊維)

- ・中東向けトープは、市況低迷が続き販売減少継続
- ・ユニフォーム用途は、定番堅調なるも企業向け制服は伸び悩む

## ● アクリル繊維

- ・産業資材用途にシフト中



## Ⅱ. 2019年度業績見通し

# 2019年度業績見通し

工業用フィルムの拡大、原燃料価格の安定化を見込むも、火災の影響、外部環境の不透明感に加え、拡大投資の費用先行もあり、営業利益は220億円を予想

(億円)

	2018年度	2019年度	増減	
売上高	3,367	3,500	+133	+4.0%
営業利益	217	220	+3	+1.3%
(率)	6.5%	6.3%	-	-
経常利益	178	180	+2	+1.2%
特別損益	▲ 177	70	+247	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	▲ 6	170	+176	-
EPS (円)	▲ 6.8	191.5	-	-
減価償却費	158	170	+12	+7.4%
設備投資	255	365	+110	+43.1%

為替レート (円/US\$)

111

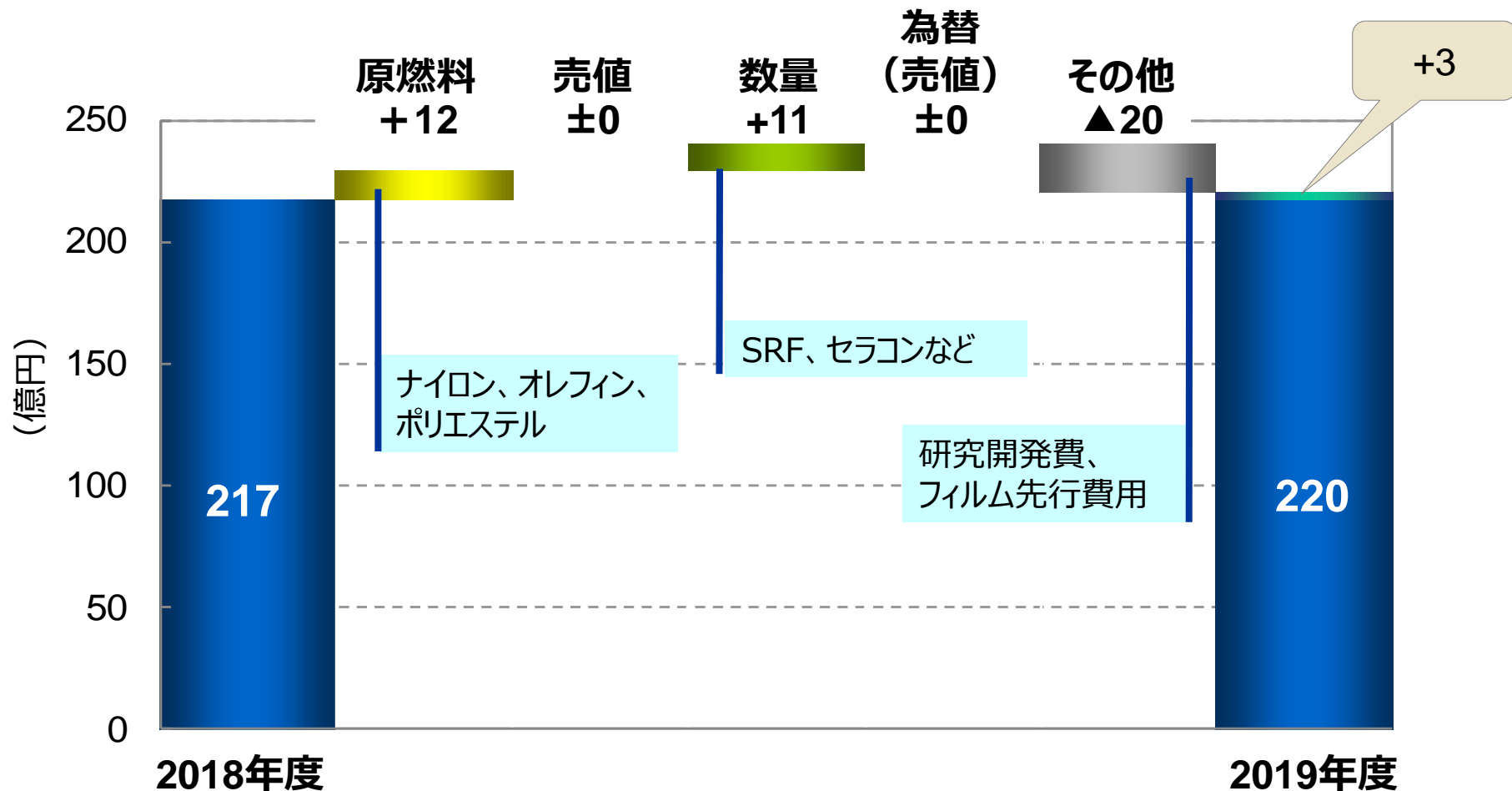
112

国産ナフサ価格 (千円/kl)

49

47

# 営業利益の増減要因



	2018年度	2019年度
為替レート (円/US\$)	111	112
国産ナフサ (千円/kl)	49	47



# セグメント別見通し

(億円)

	売上高		営業利益		
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	増減
	実績	見通し	実績	見通し	
フィルム・機能樹脂	1,562	1,625	137	148	+11
産業マテリアル	665	710	26	24	▲2
ヘルスケア	347	370	52	54	+2
繊維・商事	646	650	9	8	▲1
不動産・その他	147	145	22	21	▲1
消去・全社	-	-	▲29	▲35	▲6
合計	3,367	3,500	217	220	+3

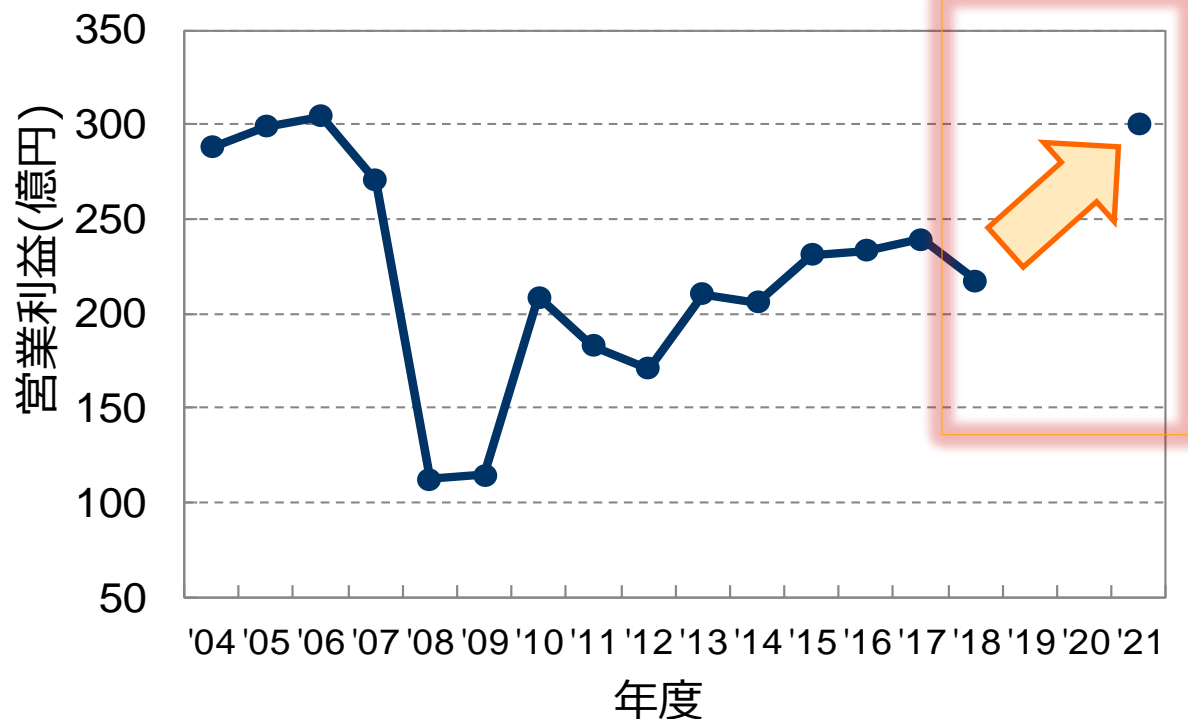


## Ⅲ. 2018年中期経営計画進捗

# 定量目標

## 営業利益300億円へ再チャレンジ

不断の  
ポートフォリオ改革



	定量目標
売上高 (億円)	3,750
海外売上高比率 (%)	35.0
営業利益 (億円)	300
営業利益率 (%)	8.0
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)	160
ROE (%)	> 8.0
D/Eレシオ	< 1.0

**成長分野** 「フィルム&コーティング」  
「モビリティ」  
「ヘルスケア&ウェルネス」 に注力

# 成長への加速 収穫の実現

1 / 3 思考(中短期)

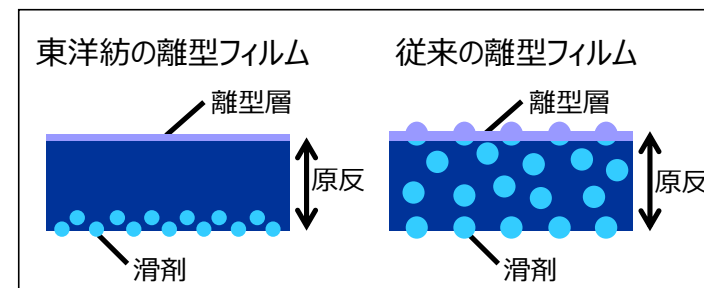
## “コスモシャイン SRF”

- 2018年度 約65%の大幅増収。**シェア約30%達成**
- 2020年度 3号機量産開始予定。生産能力約1.5倍に
- 2021年度 **シェア40%をめざす**
- 液晶TV用途に販売を拡大
- パネル大型化、オープンセル化、ベゼルレス化で、ポリエステルの優位性顕著に



## セラコン用離型フィルム

- 2018年度 約30%増収。  
ハイエンド品の**シェア約25%達成**
- 2019年度 新加工設備が稼働  
約2倍の生産能力に
- 2021年度 ハイエンド品の**シェア30%をめざす**
- 平滑性に優れ、スマホ、タブレット、車載用で拡販



# 新商品・新事業開発の強化

1 / 3 思考(中長期)

## 高耐熱性ポリイミドフィルム“ゼノマックス”

◀ スマートライフ

- ・ 新工場が稼働。**100億円規模の事業をめざす**
- ・ 電子ペーパーディスプレイの基板等に展開



## 透明蒸着フィルム“エコシアール”

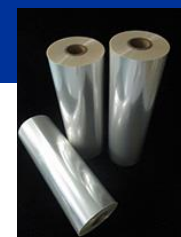
◀ フードロス、環境負荷を低減

- ・ 米州Terphane社と販売契約を締結、**海外展開を加速**
- ・ 2019年度 TRIAS社（インドネシア）との合弁生産会社が稼働予定

## 包装用PETフィルム“東洋紡エステルGS”

◀ 環境負荷を低減

- ・ **2019年度 量産開始**予定
- ・ 重金属フリー、リサイクルに適した触媒を使用



## 中空糸型正浸透膜（FO膜）

◀ クリーンエネルギー

- ・ 実用化に向け、**欧州の浸透圧発電プラントで実証テスト開始**
- ・ 塩分濃度差を利用する再生可能エネルギー



## オープンイノベーション

- ・ Capricorn Venture Partners n.v.が運用する、欧州基盤の**ベンチャーファンドへ参加**

# 事業基盤の強化 安全・防災への取り組み

1 / 3 思考(事業基盤)

## 火災の概要

- ・ 2018年9月6日、敦賀事業所において火災事故発生
- ・ エアバッグ用原糸、“ブレスエアー”、衣料用ナイロンの製造設備が被災

**推定原因** エアバッグ用原糸生産設備の配線短絡で火花が発生し、引火

**収束** 消防より工場の緊急使用停止命令解除（2018年12月）

## 防災対策

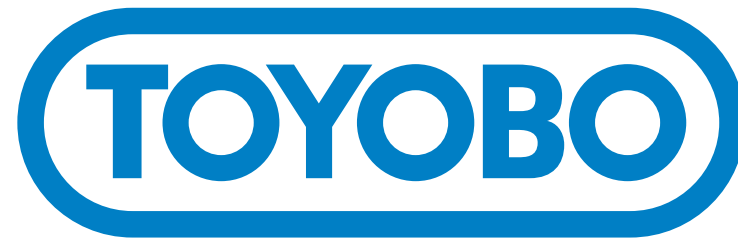
- (1) 第三者による防災診断を実施、各工場の火災リスクを抽出
- (2) 「消防設備ガイドライン」を制定
- (3) 各工場では防災総点検を実施

**火災事故を教訓として、さらなる防災活動を推進**

# ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



*Ideas & Chemistry*

All Rights Reserved